

科目区分	専門教育科目	授業科目名	運動遊びの実践			科目コード	24Y212	担当者	野田 章子			担当形態	単独
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	2年次	開講学期	前期	単位数	2	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	保育士必修		
授業形態	演習	履修条件									教育職員免許法 施行規則に 定める 科目区分等	科目区分	
実務の経験を有する教員担当科目		該当	実務の経験内容及び 科目との関連	小学校で教諭として勤務した経験があり、運動遊びに関して幅広い知識を有している。この経験を生かして、運動遊びの実践の授業を指導する。								科目に含める ことが必要な 事項	

授業の主題	本科目は、自らの運動遊びの実践をもとに幼児期に望ましい運動遊びの指導法を考えることを目標としている。本科目では、①運動遊びを実践できる、②運動遊びを考えられる、③運動遊びの指導方法が分かる、ことをねらいにしている。						課題等への対応 (フィードバックの方法等)	提出された課題は内容を確認し、コメントし、質問などに答える。					
授業の方法	実践を中心に自身の運動技能を身につけ、運動遊びの指導法を学ぶ。						アクティブ・ラーニングの 実施方法	グループ活動を取り入れ、意見交換の場を設ける。					

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	心と体をほぐす遊び (仲間づくりのあそび、簡単なフォークダンス)	事前：アイスブレイク遊びについて調べる 事後：アイスブレイク遊びのねらいや遊び方をまとめる	第9回	イメージを使った遊び (体ほぐし、模倣遊び、表現遊び)	事前：表現遊びについて調べる 事後：表現遊びのねらいや遊び方をまとめる	
第2回	ボールを使った遊び (体ほぐし、走りっこ、鬼ごっこ、ゲーム)	事前：ボール遊びについて調べる 事後：ボール遊びのねらいや遊び方をまとめる	第10回	リズムを使った遊び (体ほぐし、リズム遊び、簡単な踊り)	事前：リズム遊びについて調べる 事後：リズム遊びのねらいや遊び方をまとめる	
第3回	フープを使った遊び (体ほぐし、走りっこ、鬼ごっこ、ゲーム)	事前：フープ遊びについて調べる 事後：フープ遊びのねらいや遊び方をまとめる	第11回	表現・リズム遊びの指導法① (子どもに適した題材を選ぶ)	事前：子どもに人気の歌や曲を調べる 事後：歌や曲を聴く	
第4回	なわを使った遊び (体ほぐし、走りっこ、鬼ごっこ、ゲーム)	事前：なわ遊びについて調べる 事後：なわ遊びのねらいや遊び方をまとめる	第12回	表現・リズム遊びの指導法② (子どもに適したひとながれの動きをつくる)	事前：子どもに適したひとながれの動きを考える 事後：ひとながれの動きを練習する	
第5回	紙や布を使った遊び (体ほぐし、走りっこ、鬼ごっこ、ゲーム)	事前：紙や布を使った遊びについて調べる 事後：紙を布を使った遊びのねらいや遊び方をまとめる	第13回	表現・リズム遊びの指導法③ (子どもに適したひとままとりの動きをつくる)	事前：子どもに適したひとままとりの動きを考える 事後：ひとままとりの動きを練習する	
第6回	マット、鉄棒、跳び箱を使った遊び (体ほぐし、サーキット遊び)	事前：サーキット遊びについて調べる 事後：サーキット遊びのねらいや遊び方をまとめる	第14回	表現・リズム遊びの発表	事前：発表の練習をする 事後：発表の感想を書く	
第7回	ルールのある遊び (じゃんけん遊び、チーム対抗の鬼ごっこやゲーム)	事前：ルールのある遊びについて調べる 事後：ルールのある遊びのねらいや遊び方をまとめる	第15回	運動遊びの指導のまとめ	事前：運動遊びの指導について調べる 事後：運動遊びの指導の要点をまとめる	
第8回	伝承遊び (独楽、竹馬、わらべ歌遊び)	事前：伝承遊びについて調べる 事後：伝承遊びのねらいや遊び方をまとめる			事前・事後 学修時間 (分／授業1回)	180分／授業1回

教科書 [書名／著者名／出版社]	授業ごとに教員が作成した紙媒体の資料を配布する。	受講生への メッセージ	幼児の身体活動を伴う遊びでは保育者が学習モデルであり、その発展には保育者自身の豊かな運動遊びの経験が大きな影響を持つと考えられます。運動技能を身につけながら、子ども達にとって最適な指導ができる方法を学びましょう！
参考書 [書名／著者名／出版社]			

評価基準																		
	学修成果の大分類	学修成果の中分類 [10の力]	学修成果の配点比率（％）	評価方法の配点比率（％）						学修成果の小分類			尺度					
				定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法／評価指標	レベル5 （S：100～90％）	レベル4 （A：89～80％）	レベル3 （B：79～70％）	レベル2 （C：69～60％）	レベル1 （F：59％以下）	
観 点	尽心	① 学習意欲																
		② 規律性																
	創造	知識・技能	③ 知識	40			40				運動遊びの指導方法が分かり、説明できる。	専門的知識	確認テスト	運動遊びの指導方法十分に分かり、しっかり説明できる。	運動遊びの指導方法が分かり、説明できる。	運動遊びの指導方法が概ね分かり、ある程度説明できる。	運動遊びの指導方法がある程度分かり、少し説明できる。	運動遊びの指導方法が分からず、説明できない。
			④ 技能	40					40	運動遊びを実践でき、発表ができる。	専門的技能	発表	運動遊びを十分実践できる力があり、すばらしい発表ができる。	運動遊びを实践できる力があり、良い発表ができる。	運動遊びを概ね実践できる力があり、発表ができる。	運動遊びをある程度実践できる力があり、発表ができるが不十分である。	運動遊びを实践できず、発表ができない。	
		思考・判断	⑤ 情報活用能力															
			⑥ 課題解決力															
		表現	⑦ 言語活用能力															
			⑧ コミュニケーション力															
	実践	行動・応用	⑨ 主体性	20					20	運動遊びについて考えることができ、グループ学習で提案できる。	積極性	授業内のグループ学習	運動遊びについて十分に考えることができ、グループ学習で積極的に提案できる。	運動遊びについて考えることができ、グループ学習で提案できる。	運動遊びについて概ね考えることができ、グループ学習で発言できる。	運動遊びについてある程度考えることができ、グループ学習に参加できる。	運動遊びを考えられず、グループ学習に参加できない。	
			⑩ 協働性															
合計			100			40	20	40										